



ブルトン・デュ・ジャポン協会

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町 4-10-5
スペース日本橋 1103
電話・FAX : 03-3249-2733
contact@bretonsdujapon.com
www.bretonsdujapon.com

2011年7月5日

プレスリリース

◆◆『国際交流における市民の役割』講演と討論◆◆

主催：ブルトン・デュ・ジャポン協会

横須賀市、横須賀国際交流協会

2011年7月16日（土）14時～16時30分

神奈川県立保健福祉大学講堂

入場無料、先着順

ブルトン・デュ・ジャポン協会は、毎年、ブルターニュの守護聖人である聖イヴの祝日（5月19日）の頃、「ブルターニュ祭」を東京で開催しています。その一環として、7月18日に行われる東北復興支援チャリティ・コンサートを前に、去年40周年を迎えた、ブルターニュ地方ブレスト市と神奈川県横須賀市との姉妹都市関係について講演会を行います。

2010年に40周年を迎えたブレストと横須賀の姉妹都市。ブレスト市姉妹都市および国際連帯担当副市長レザ・サラミ氏が、1865年以来、関係を築いてきたこのふたつの港湾都市の歴史を振り返り、国際交流において、年々高まっている民間団体の役割について分析する。



3月11日の震災のあと、多くの外国人や海外の市民団体が被災者のために支援活動を行ったことに、日本人は少なからず驚かされた。国際連帯において市民が担う役割とはどのようなものなのか。また今後どのようにあるべきなのか。

サラミ氏の講演を受け、姉妹都市を専門に研究を重ねてきた財団法人日本国際交流センター・チーフ・プログラム・オフィサー毛受敏浩氏と、多文化共生について詳しい横須賀市国際交流課長松本義弘氏が、日本における姉妹都市交流の歴史、活動、今後、そして今回のような非常時における外国市民からの支援について考える。



神奈川県立保健福祉大学
神奈川県横須賀市平成町 1-10-1

ブルターニュ地方



ブルターニュ地方はフランスの北西部に位置し、独自の古い歴史と伝説を持つ。巨石文化や自然崇拜のケルト民族が祖先で、その歴史は紀元前5千年までさかのぼる。1532年にフランス王国に併合されるまでは独立した公国であった。ブルターニュの人々は「フランス人である前にブルトン人である」と言うほど故郷ブルターニュを愛し誇りに思っている。彼らは独自の言語（ブルトン語）や歴史と宗教に基づいた独特の文化を大切にしている。伝統的な祭りが盛んで、夏になるとブルターニュの各地で開催される。

ブルターニュ祭（聖イヴの祝日 5月19日）

ブルターニュでは10年前からこの地方の守護聖人である聖イヴの祭日にお祭りが行われてきた。創造的で連帯を大切にするブルターニュの人々が、自分たちの故郷を知り理解してもらうため、ブルターニュ各地はもちろんニューヨークや東京でもコンサート、展覧会、演劇、講演会、ピクニックなど200以上のイベントを行っている。アイルランドに聖パトリックがいるように、ブルターニュには聖イヴがいるのである。



ブルトン・デュ・ジャポン協会

ブルトン・デュ・ジャポン協会は、フランス・ブルターニュ地方と日本との緊密な交流を目的としています。なかでも文化的・経済的交流を中心に、ブルターニュ地域圏議会の助成を受けてさまざまな活動を行っています。随時、会員を募集しています。

HP: www.bretonsdujapon.com

メール: contact@bretonsdujapon.com

